

編集室  
より

●大作曲家ベートーヴェン(1770～1827)の死因はいまだ不明とされているが、近年、その原因に迫る意欲的な研究が行われている。

●手がかかりとなったのは「ベートーヴェンの遺髪」だ。ベートーヴェンの死の翌日に切り取られた遺髪は、さまざまな人の手をわたり、約170年後の1994年にサザビーズ(ロンドンにある世界最大のオークション会社)の競売にかけられた(遺髪の数奇な運命については、『ベートーヴェンの遺髪』という有名なノンフィクション作品がある)。

●2人の研究家によって落札された遺髪からは、DNA鑑定などで、通常の100倍もの鉛が検出されたため、ベートーヴェンの死因としては、一躍鉛中毒説が有力視されることとなった。しかし、なぜ鉛中毒になったかは依然として不明である。鉛入りワイン愛飲説など諸説あるが、説得力不足の感があった。

●ところが昨年になって、ウィーン大学のライター法医学部長は、レーザー光線を当てる方法で鉛が吸収された時期を特定。当時肺炎に苦しんでいたベートーヴェンに処方された、鉛を含有した薬剤や腹水を抜く際に使用された鉛入りクリームが、肝臓を壊死させたという新説を発表し、注目を集めた。

●治療があだとなったのであれば気の毒と言うしかないが、「無根拠で有害な治療が盲信されていた時代のこと」と笑って済ませられるものではないだろう。医療水準とは常に変わっていくものであり、また、治療とは必ず有害性を伴うものでもある。

●抗菌薬の使用法をはじめ、治療の有害性を最小化するための努力が、医師には求められているのだと、本特集を準備しながら、あらためて考えた。

(T)

## medicina (vol.45 no.10)

2008年10月10日発行(毎月1回10日発行)

定価2,520円(本体2,400円+税5%)

2008年年きめ予約購読料36,740円

(ただし、増刊号を含む。送料弊社負担)

担当：今田、高須、鋤柄、滝沢

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集部直通 (03)3817-5717

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

E-mail : medicina@igaku-shoin.co.jp

医学書院ホームページ : <http://www.igaku-shoin.co.jp>

振替口座 00170-9-96693番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03)3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670)の許諾を得てください。